



Windowsホストユーティリティをインストールする

ONTAP SAN Host Utilities

NetApp
February 24, 2026

目次

Windowsホストユーティリティをインストールする	1
ONTAPストレージ用のWindowsホストユーティリティ8.0をインストールする	1
ステップ1: ホストとストレージシステムの構成を確認する	1
ステップ2: FC HBAとスイッチを構成する	2
ステップ3: Windowsホストユーティリティをインストールする	2
次の手順	3
ONTAPストレージ用のWindowsホストユーティリティ7.2をインストールする	4
ステップ1: ホストとストレージシステムの構成を確認する	4
ステップ2: FC HBAとスイッチを構成する	5
ステップ3: Windowsホストユーティリティをインストールする	5
次の手順	7
ONTAPストレージ用のWindowsホストユーティリティ7.1をインストールする	7
ステップ1: ホストとストレージシステムの構成を確認する	8
ステップ2: FC HBAとスイッチを構成する	9
ステップ3: Windowsホストユーティリティをインストールする	9
次の手順	10

Windowsホストユーティリティをインストールする

ONTAPストレージ用のWindowsホストユーティリティ8.0をインストールする

Windows Host Utilitiesを使用すると、WindowsホストコンピュータをNetAppストレージシステムに接続できます。

Windows Host Utilitiesは、次のバージョンのWindowsをサポートします。

- Windows 2025
- Windows 2022
- Windows 2019
- Windows * 2016

Windows ホスト ユーティリティには、Windows ホストがONTAPプラットフォームのストレージ システムの動作を正しく処理できるように、必要な Windows レジストリとホスト バス アダプタ (HBA) パラメータを設定するインストール プログラムが含まれています。

Host Utilitiesソフトウェアをインストールすると、必要なWindowsレジストリとHBAパラメータがインストーラによって設定されます。

Windows ホストコンピュータには、次のプログラムとファイルがインストールされています。デフォルト・ディレクトリは C : \Program Files\NetApp\SnapManager \Windows Host Utilities' です。

プログラム	目的
\NetAppQCLI\fcconfig.exe	インストールプログラムがHBAパラメータを設定するために使用します。
\NetAppQCLI\fcconfig.ini	インストールプログラムがHBAパラメータを設定するために使用します。
'a_version.exe'	Host UtilitiesとFC HBAのバージョンが表示されません。

Host Utilitiesは、さまざまなWindowsホスト構成、プロトコル、マルチパスオプションをサポートします。詳細については、を参照して "[Interoperability Matrix Tool](#)"ください。

ステップ1: ホストとストレージシステムの構成を確認する

Windowsホストユーティリティをインストールする前に、ホストとストレージシステムの構成がサポートされていることを確認してください。 [サポートされるWindowsのバージョン](#)。

手順

1. でサポートされる構成を確認します "[Interoperability Matrix Tool](#)"。
2. Windows Serverホストバージョンに必要な修正プログラムを確認してください。 "[SANホストのWindowsに関するドキュメント](#)"。

例えば、"[ONTAPストレージ用のWindows Server 2025の設定](#)"このドキュメントでは、Windows Server 2025 用の Windows 修正プログラムをインストールする手順について説明します。

3. "[iSCSIまたはFCPライセンスを追加する](#)"。
4. 対象サービスを開始します。
5. ケーブル接続を確認します。

参照 "[SAN 構成リファレンス](#)" 詳細なケーブル接続および構成情報については、こちらをご覧ください。

ステップ2: FC HBAとスイッチを構成する

ストレージシステムへのFC接続用にサポートされる1つ以上のFC Host Bus Adapter (HBA；ホストバスアダプタ) をインストールして設定します。

Windows Host Utilitiesのインストーラでは、必要なFC HBAを設定できます。



HBA パラメータの設定は、Windows Host Utilities インストーラのみ許可する必要があります。これにより、Windows ホストがONTAPプラットフォームのストレージ システムの動作を正しく処理できるようになります。

手順

1. HBAベンダーの指示に従って、サポートされているFC HBAを1つ以上取り付けます。
2. サポートされている HBA ドライバと管理ユーティリティを入手し、HBA ベンダーの指示に従ってインストールします。
3. "[HBAをFCスイッチに接続するか、ストレージシステムに直接接続します。](#)"。
4. "[FCスイッチのドキュメントに従ってFCスイッチにゾーンを作成します。](#)"。
5. ONTAPの場合、スイッチを WWPN でゾーン分けします。ストレージ コントローラ上の物理ポートの WWPN ではなく、論理インターフェイス (LIF) の WWPN を使用してください。参照 "[SAN 構成リファレンス](#)" 詳細についてはこちらをご覧ください。

ステップ3: Windowsホストユーティリティをインストールする

インストール プログラムは、Windows ホスト ユーティリティ パッケージをインストールし、Windows レジストリと HBA 設定を設定します。

このタスクについて

オプションで、Windows ホスト ユーティリティ ソフトウェア パッケージをインストールするときに、マルチパス サポートを含めることができます。インストーラーは次のオプションの入力を求めます。

- を選択します MPIO Windowsホストまたは仮想マシンからストレージシステムへのパスが複数ある場合。
- 選ぶ `no MPIO` ストレージ システムへの単一のパスを使用している場合のみ。

Windows コマンド ライン プロンプトを使用してマルチパス サポートを選択することもできます。

Hyper-V ゲストの場合、マルチパス サポートを選択すると、raw (パススルー) ディスクはゲスト OS に表示されません。RAW ディスクまたは MPIO のいずれかを使用できますが、ゲスト OS では両方を使用することはできません。



MPIOソフトウェアをインストールしない場合、Windows OSは各パスを個別のディスクとして認識する可能性があります。これにより、データが破損する可能性があります。



Hyper-V仮想マシンで実行されているWindows XPまたはWindows Vistaは、MPIOをサポートしていません。

手順

ホストユーティリティは、対話形式で、またはWindowsコマンドラインを使用してインストールできます。新しいHost Utilities インストールパッケージは、Windows ホストからアクセスできるパスに存在する必要があります。

対話型インストール

インストールプログラムを実行し、プロンプトに従って、Windows ホストユーティリティソフトウェアパッケージを対話型でインストールします。

1. 実行ファイルを以下からダウンロードしてください。"[ネットアップサポートサイト](#)"。
2. 実行ファイルをダウンロードしたディレクトリに移動します。
3. 実行 `netapp_windows_host_utilities_8.0.0_x64` ファイルを開き、画面の指示に従います。
4. プロンプトが表示されたら、Windows ホストをリブートします。

非対話型でインストールする

Windows コマンドラインを使用して、ホストユーティリティの非対話型インストールを実行します。インストールが完了すると、システムは自動的に再起動します。

1. Windowsコマンドプロンプトで、次のコマンドを入力します。

```
msiexec /i installer.msi /quiet MULTIPATHING= {0 | 1}  
[INSTALLDIR=inst_path]
```

- `installer` は、の名前で `.msi` 使用しているCPUアーキテクチャ用のファイル。
- マルチパスでは、MPIO サポートがインストールされているかどうか指定できる値は、noの場合は「0」、yesの場合は「1」です。
- 「`inst_path`」は、Host Utilities ファイルがインストールされているパスです。デフォルトパスは「`C : \Program Files\NetApp\Virtual Host Utilities\`」です。



ロギングやその他の機能に関する標準のMicrosoft Installer (MSI) オプションを表示するには、と入力します `msiexec /help` をクリックします。たとえば、などです `msiexec /i install.msi /quiet /l*v <install.log> LOGVERBOSE=1` コマンドはロギング情報を表示します。

次の手順

["ONTAPストレージのWindowsホストユーティリティ構成について学習します"](#)

ONTAPストレージ用のWindowsホストユーティリティ7.2をインストールする

Windows Host Utilitiesを使用すると、WindowsホストコンピュータをNetAppストレージシステムに接続できます。

Windows Host Utilitiesは、次のバージョンのWindowsをサポートします。

- Windows 2025
- Windows 2022
- Windows 2019
- Windows * 2016
- Windows Server 2012 R2の場合
- Windows Server 2012

Windows Host Utilitiesには、WindowsホストがONTAPおよびEシリーズプラットフォームのストレージシステムの動作を正しく処理できるように、必要なWindowsレジストリとHost Bus Adapter (HBA; ホストバスアダプタ) パラメータを設定するインストールプログラムが含まれています。

Host Utilitiesソフトウェアをインストールすると、必要なWindowsレジストリとHBAパラメータがインストーラによって設定されます。

Windows ホストコンピュータには、次のプログラムとファイルがインストールされています。デフォルト・ディレクトリは C : \Program Files\NetApp\SnapManager \Windows Host Utilities' です。

プログラム	目的
emulexhba.reg`	トラブルシューティングプログラム。このプログラムは、テクニカルサポート担当者から指示があった場合にのみ実行してください。
\NetAppQCLI\fcconfig.exe	インストールプログラムがHBAパラメータを設定するために使用します。
\NetAppQCLI\fcconfig.ini	インストールプログラムがHBAパラメータを設定するために使用します。
\NetAppQCLI*. *	インストールプログラムがQLogic FC HBAパラメータを設定するために使用します。
'a_version.exe'	Host UtilitiesとFC HBAのバージョンが表示されません。

Host Utilitiesは、さまざまなWindowsホスト構成、プロトコル、マルチパスオプションをサポートします。詳細については、を参照して ["Interoperability Matrix Tool"](#) ください。

ステップ1: ホストとストレージシステムの構成を確認する

用のWindows Host Utilitiesをインストールする前に、ホストとストレージシステムの構成がサポートされていることを確認して[サポートされるWindowsのバージョン](#)ください。

手順

1. でサポートされる構成を確認します ["Interoperability Matrix Tool"](#)。
2. Windows Serverホストバージョンに必要な修正プログラムを確認してください。 ["SANホストのWindowsに関するドキュメント"](#)。

例えば、["ONTAPストレージ用にWindows Server 2022を構成する"](#)このドキュメントでは、Windows Server 2022 用の Windows 修正プログラムをインストールする手順について説明します。

3. ["iSCSIまたはFCPライセンスを追加する"](#)。



SANtricity Storage Managerを使用する E シリーズ ストレージ システムでは、FC および iSCSI プロトコルにライセンスは必要ありません。

4. 対象サービスを開始します。
5. ケーブル接続を確認します。

参照 ["SAN 構成リファレンス"](#) 詳細なケーブル接続および構成情報については、こちらをご覧ください。

ステップ2: FC HBAとスイッチを構成する

ストレージシステムへのFC接続用にサポートされる1つ以上のFC Host Bus Adapter (HBA ; ホストバスアダプタ) をインストールして設定します。

Windows Host Utilitiesのインストーラでは、必要なFC HBAを設定できます。



HBA パラメータの設定は、Windows Host Utilities インストーラのみ許可する必要があります。これにより、Windows ホストがONTAPプラットフォームのストレージ システムの動作を正しく処理できるようになります。

手順

1. HBAベンダーの指示に従って、サポートされているFC HBAを1つ以上取り付けます。
2. サポートされている HBA ドライバと管理ユーティリティを入手し、HBA ベンダーの指示に従ってインストールします。
3. ["HBAをFCスイッチに接続するか、ストレージシステムに直接接続します。"](#)。
4. ["FCスイッチのドキュメントに従ってFCスイッチにゾーンを作成します。"](#)。
5. ONTAPの場合、スイッチを WWPN でゾーン分けします。ストレージ コントローラ上の物理ポートの WWPN ではなく、論理インターフェイス (LIF) の WWPN を使用してください。参照 ["SAN 構成リファレンス"](#) 詳細についてはこちらをご覧ください。

ステップ3: Windowsホストユーティリティをインストールする

インストール プログラムは、Windows ホスト ユーティリティ パッケージをインストールし、Windows レジストリと HBA 設定を設定します。

このタスクについて

オプションで、Windows ホスト ユーティリティ ソフトウェア パッケージをインストールするときに、マルチパス サポートを含めることができます。インストーラーは次のオプションの入力を求めます。

- を選択します MPIO Windowsホストまたは仮想マシンからストレージシステムへのパスが複数ある場合。
- 選ぶ `no MPIO` ストレージ システムへの単一のパスを使用している場合のみ。

Windows コマンド ライン プロンプトを使用してマルチパス サポートを選択することもできます。

Hyper-V ゲストの場合、マルチパス サポートを選択すると、raw (パススルー) ディスクはゲスト OS に表示されません。RAW ディスクまたは MPIO のいずれかを使用できますが、ゲスト OS では両方を使用することはできません。



MPIOソフトウェアをインストールしない場合、Windows OSは各パスを個別のディスクとして認識する可能性があります。これにより、データが破損する可能性があります。



Hyper-V仮想マシンで実行されているWindows XPまたはWindows Vistaは、MPIOをサポートしていません。

手順

ホスト ユーティリティは、対話形式で、または Windows コマンド ラインを使用してインストールできます。新しい Host Utilities インストール パッケージは、Windows ホストからアクセスできるパスに存在する必要があります。

対話型インストール

Host Utilities インストール プログラムを実行し、プロンプトに従って、Host Utilities ソフトウェア パッケージを対話型でインストールします。

1. から実行可能ファイルをダウンロードします ["ネットアップサポートサイト"](#)。
2. 実行ファイルをダウンロードしたディレクトリに移動します。
3. を実行します netapp_windows_host_utilities_7.2_x64 ファイルを作成し、画面の指示に従います。
4. プロンプトが表示されたら、Windows ホストをリブートします。

非対話型でインストールする

Windows コマンド ラインを使用して、ホスト ユーティリティの非対話型インストールを実行します。インストールが完了すると、システムは自動的に再起動します。

1. Windowsコマンドプロンプトで、次のコマンドを入力します。

```
msiexec /i installer.msi /quiet MULTIPATHING= {0 | 1}  
[INSTALLDIR=inst_path]
```

- installer は、の名前です .msi 使用しているCPUアーキテクチャ用のファイル。
- マルチパスでは、MPIO サポートがインストールされているかどうか指定できる値は、no の場合は「0」、yesの場合は「1」です。
- 「inst_path」は、Host Utilities ファイルがインストールされているパスです。デフォルトパスは「C : \Program Files\NetApp\Virtual Host Utilities\」です。



ロギングやその他の機能に関する標準のMicrosoft Installer (MSI) オプションを表示するには、と入力します msiexec /help をクリックします。たとえば、などです msiexec /i install.msi /quiet /l*v <install.log> LOGVERBOSE=1 コマンドはロギング情報を表示します。

次の手順

["ONTAPストレージのWindowsホストユーティリティ構成について学習します"](#)

ONTAPストレージ用のWindowsホストユーティリティ7.1をインストールする

Windows Host Utilitiesを使用すると、WindowsホストコンピュータをNetAppストレージシステムに接続できます。

Windows Host Utilitiesは、次のバージョンのWindowsをサポートします。

- Windows 2022

- Windows 2019
- Windows * 2016
- Windows Server 2012 R2の場合
- Windows Server 2012

Windows Host Utilitiesには、WindowsホストがONTAPおよびEシリーズプラットフォームのストレージシステムの動作を正しく処理できるように、必要なWindowsレジストリとHost Bus Adapter (HBA; ホストバスアダプタ) パラメータを設定するインストールプログラムが含まれています。

Host Utilitiesソフトウェアをインストールすると、必要なWindowsレジストリとHBAパラメータがインストーラによって設定されます。

Windows ホストコンピュータには、次のプログラムとファイルがインストールされています。デフォルト・ディレクトリは C : \Program Files\NetApp\SnapManager \Windows Host Utilities' です。

プログラム	目的
emulexhba.reg`	トラブルシューティングプログラム。このプログラムは、テクニカルサポート担当者から指示があった場合にのみ実行してください。
\NetAppQCLI\fcconfig.exe	インストールプログラムによって HBA パラメータの設定に使用されます。
\NetAppQCLI\fcconfig.ini	インストールプログラムによって HBA パラメータの設定に使用されます。
\NetAppQCLI*. *	インストールプログラムがQLogic FC HBAパラメータを設定するために使用します。
'a_version.exe'	Host UtilitiesとFC HBAのバージョンが表示されます。

Host Utilitiesは、さまざまなWindowsホスト構成、プロトコル、マルチパスオプションをサポートします。サポートされる構成の最新のリストについては、を参照してください ["Interoperability Matrix Tool"](#)。

ステップ1: ホストとストレージシステムの構成を確認する

用のWindows Host Utilitiesをインストールする前に、ホストとストレージシステムの構成がサポートされていることを確認して[サポートされるWindowsのバージョン](#)ください。

手順

1. でサポートされる構成を確認します ["Interoperability Matrix Tool"](#)。
2. Windows Serverホストバージョンに必要な修正プログラムを確認してください。 ["SANホストのWindowsに関するドキュメント"](#)。

例えば、["ONTAPストレージ用にWindows Server 2022を構成する"](#)このドキュメントでは、Windows Server 2022 用の Windows 修正プログラムをインストールする手順について説明します。

3. ["iSCSIまたはFCPライセンスを追加する"](#)。



SANtricity Storage Managerを使用する E シリーズ ストレージ システムでは、FC および iSCSI プロトコルにライセンスは必要ありません。

4. 対象サービスを開始します。
5. ケーブル接続を確認します。

参照 ["SAN 構成リファレンス"](#) 詳細なケーブル接続および構成情報については、こちらをご覧ください。

ステップ2: FC HBAとスイッチを構成する

ストレージシステムへのFC接続用にサポートされる1つ以上のFC Host Bus Adapter (HBA ; ホストバスアダプタ) をインストールして設定します。

Windows Host Utilitiesのインストーラでは、必要なFC HBAを設定できます。



HBA パラメータの設定は、Windows Host Utilities インストーラのみ許可する必要があります。これにより、Windows ホストがONTAPプラットフォームのストレージ システムの動作を正しく処理できるようになります。

手順

1. HBAベンダーの指示に従って、サポートされているFC HBAを1つ以上取り付けます。
2. サポートされている HBA ドライバと管理ユーティリティを入手し、HBA ベンダーの指示に従ってインストールします。
3. ["HBAをFCスイッチに接続するか、ストレージシステムに直接接続します。"](#)。
4. ["FCスイッチのドキュメントに従ってFCスイッチにゾーンを作成します。"](#)。
5. ONTAPの場合、スイッチを WWPN でゾーン分けします。ストレージ コントローラ上の物理ポートの WWPN ではなく、論理インターフェイス (LIF) の WWPN を使用してください。参照 ["SAN 構成リファレンス"](#) 詳細についてはこちらをご覧ください。

ステップ3: Windowsホストユーティリティをインストールする

インストール プログラムは、Windows ホスト ユーティリティ パッケージをインストールし、Windows レジストリと HBA 設定を設定します。

このタスクについて

オプションで、Windows ホスト ユーティリティ ソフトウェア パッケージをインストールするときに、マルチパス サポートを含めることができます。インストーラーは次のオプションの入力を求めます。

- を選択します MPIO Windowsホストまたは仮想マシンからストレージシステムへのパスが複数ある場合。
- 選ぶ `no MPIO` ストレージ システムへの単一のパスを使用している場合のみ。

Windows コマンド ライン プロンプトを使用してマルチパス サポートを選択することもできます。

Hyper-V ゲストの場合、マルチパス サポートを選択すると、raw (パススルー) ディスクはゲスト OS に表示されません。RAW ディスクまたは MPIO のいずれかを使用できますが、ゲスト OS では両方を使用することはできません。



MPIOソフトウェアをインストールしない場合、Windows OSは各パスを個別のディスクとして認識する可能性があります。これにより、データが破損する可能性があります。



Hyper-V仮想マシンで実行されているWindows XPまたはWindows Vistaは、MPIOをサポートしていません。

手順

ホストユーティリティは、対話形式で、またはWindowsコマンドラインを使用してインストールできます。新しいHost Utilities インストールパッケージは、Windows ホストからアクセスできるパスに存在する必要があります。

対話型インストール

Host Utilities インストールプログラムを実行し、プロンプトに従って、Host Utilities ソフトウェアパッケージを対話型でインストールします。

1. から実行可能ファイルをダウンロードします ["ネットアップサポートサイト"](#)。
2. 実行ファイルをダウンロードしたディレクトリに移動します。
3. 「NetApp_windows_host_utilities_7.1_x64」ファイルを実行し、画面の指示に従います。
4. プロンプトが表示されたら、Windows ホストをリブートします。

非対話型でインストールする

Windows コマンドラインを使用して、ホストユーティリティの非対話型インストールを実行します。インストールが完了すると、システムは自動的に再起動します。

1. Windows のコマンドプロンプトで、次のコマンドを入力します。

```
msiexec /i installer.msi /quiet MULTIPATHING= {0 | 1}  
[INSTALLDIR=inst_path]
```

- `installer` は、の名前です `.msi` CPUアーキテクチャ用のファイル
- マルチパスでは、MPIO サポートがインストールされているかどうか指定できる値は、noの場合は「0」、yesの場合は「1」です。
- 「`inst_path`」は、Host Utilities ファイルがインストールされているパスです。デフォルトパスは「`C : \Program Files\NetApp\Virtual Host Utilities\`」です。



ロギングやその他の機能に関する標準のMicrosoft Installer (MSI) オプションを表示するには、と入力します `msiexec /help` Windowsコマンドプロンプト。例えば、`msiexec /i install.msi /quiet /! * v <install.log> LOGVERBOSE=1` コマンドはログ情報を表示します。

次の手順

["ONTAPストレージのWindowsホストユーティリティ構成について学習します"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。